

## 子どもが 安心して遊べる

①

午後7時過ぎ、横浜市港北区大豆戸町の住宅街に「こんな子ども」のビルで、ランドセルを背負った子どもたちが次々に入ってきた。「安全居場所を確保します、入り口カウンタ―でスタッフが子どもの体調を確認した後、タイムカードを機械で読み取っていく。その後は室内で遊んだり、公園で遊んだり、おやつを食べたりして、ほとんどの子が午後6、7時ごろまで過ごす。今春オープンした児童保育施設「大倉山よここ」には、地元小学校を中心に13年生25人が通っている。施設を運営するNPO法人「横浜子どもプラザ」は、別の児童保育に子どもを預けていた父親たちが立ち上げた。

**酒席が出发点**  
「こんなサービスが午後10時まで預かってもらえる。有料だが夕食もあり、塾や習い事への送迎もしてくれる。約100平方メートルの全面フローリング、南側は一面ガラス張りです。室内は明るい。少しでも

## 安心空間作り 父が全力



オープンからもうすぐ2カ月。子どもたちもなじんできた＝横浜市港北区大豆戸町の「大倉山よここ」で

いい物件を確保しようと、父親たちが足を掻き回して探し、東急東横線の大倉山駅から徒歩10分の場所をようやく見つけた。家賃は月25万円だが、この地域では「狭わり」が出しだったという。スタッフは補助の指導員2人にパート4人の6人態勢。法人メンバーも交代で応援に入る。家賃や指導員の給与に対して市の補助があり、保護

者が毎月持ち基本料金は1万5千円と、平均的な学童並みに抑えたという。

**11人無給で活動**  
NPO法人のメンバー11人は無給で、9人は地元の父親だ。経理や事務作業はメンバーが仕事帰りの週末を使ってこなし、代表理事を務める吉崎弘紀さん(48)は「安心安全の環境で子どもを伸ばし伸ばさせたかった。地域全体がかわりながら子育てできる空間にしたい」と話す。

放課後の子どもたちを保護者に代わって預かってくれる「学童保育」は、共働き家庭や一人親家庭にはなくてはならない存在だ。最近では、送迎付きや深夜まで預かってくれる民間業者が参入するなど、以前比べて環境が変わってきている。現場を歩いた。

この連載は佐藤善一、斎藤健一郎が担当します

横浜総局  
〒221-8504  
横浜市中央区  
日本大通15  
☎045-681-6101  
ファクス045-681-6906  
田園都市支局  
〒223-0002  
横浜市青葉区  
美しが丘1-10-8  
☎045-904-9010  
ファクス045-904-9020  
県内取材網  
川崎 044-244-4306  
神奈川 046-36-4911  
横浜 046-221-3303  
横浜 046-822-0211  
鎌倉 0467-22-0123  
小田原 0465-22-8758  
相模原 042-752-3150  
平塚 0463-35-3245  
購読・配達のご用は  
☎0120-03-1179  
平日 7:00-21:00  
休日 7:00-11:00  
広告のご用は  
☎045-681-5151  
折り込みのご用は  
☎045-227-6881



寄贈 神奈川県連合朝日会 / 朝日新聞横浜総局